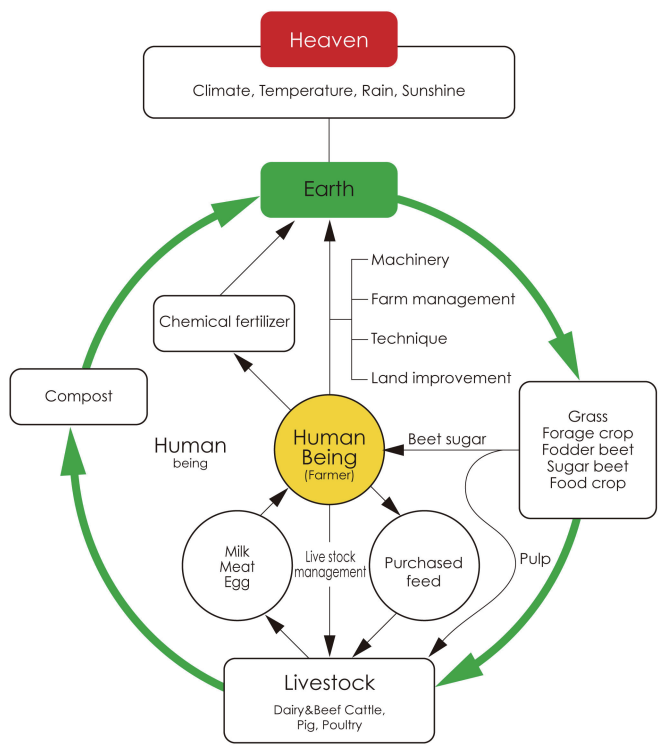




Research of One Health

2014

Chart of Agriculture with Material Circulation



Science Journal in
Graduate School of Rakuno Gakuen University

ROH Editorial Office
Established in 2014

Research of One Health

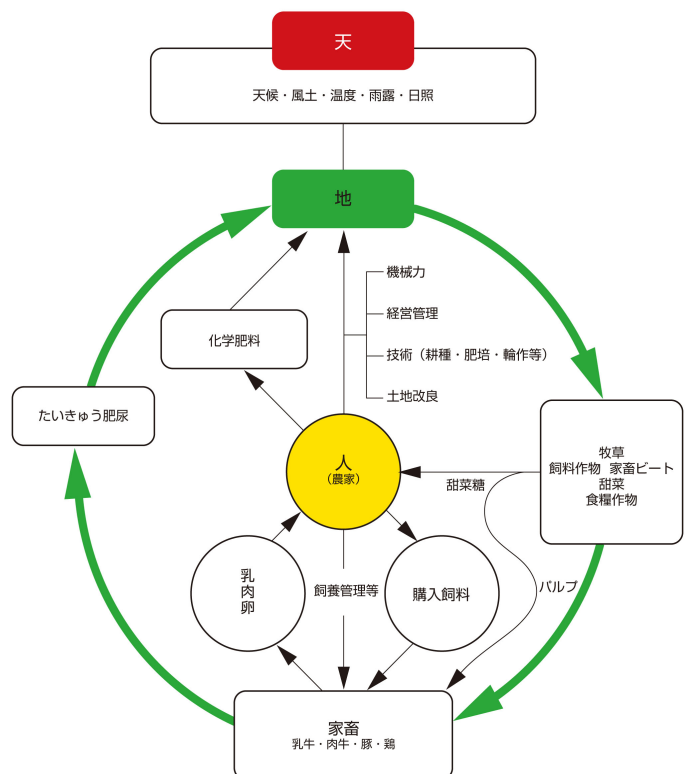
Title “Research of One Health (ROH)” of Science Journal in Graduate School of Rakuno Gakuen University: The idea behind the foundation of Rakuno Gakuen University (RGU) is a “spirit of three loves” underpinning a notion of “healthy soil and healthy people”, which represents RGU founder Torizo Kurosawa’s statement that “Healthy people are sustained by healthy soil.” In other words, there must be a connection between a healthy natural environment, flora and fauna, food, and people. This idea, which was advocated more than 70 years ago, has the same meaning as the concept of “One Health” that is attracting attention worldwide today, namely: “In order to preserve the health of people, animals and the environment, the health of each of these aspects is essential.” *One Health* was selected as the title of this magazine in order to share RGU’s idea with the rest of the world.

趣旨

題名「One Health」と健土健民の説明

酪農学園大学の建学の理念は、「三愛精神」とそれに基づく「健土健民」であるが、「健土健民」は、「人の健康は健康な土に支えられている」ことを表した、本学の創立者黒澤西蔵の言葉である。これはまた、健康な「自然－動植物－食－人」のつながりの必要性を唱えたものである。70年以上前に提唱されたこの理念は(右図参照)、今世界中で注目されている「One Health」の考え方、すなわち、「人、動物、環境の健康を維持して行くには、どのひとつの健康も欠かすことができない」という考え方と同義である。本誌のタイトルを「One Health」としたのは、本学の理念を世界と共有するためである。(干場学長)

循環農法図



1. 雑誌名

Research of One Health (ROH)

2. 目的

本誌は、地球物質循環に基づいた環境に負荷を生じない持続可能な食生産に関する実践的な又は基礎的な科学の発展を目的とする。本誌は、生態学に合致した健康な生命活動を保証する農学、食品科学、環境学、動物科学の領域の研究を出版する。編集委員会は、職場で独自の研究を推進している酪農学園大学の卒業生、大学院生、教職員及び前述した目的や領域に関係する研究を進めている研究者からの投稿を歓迎する

Purpose of ROH:

The purpose of this magazine is to develop practical and fundamental sciences relating to sustainable food production that will not impose a burden on the environment based on the circulation of earth materials. This magazine publishes research from the fields of agriculture, food science, environmental science and animal biology guaranteeing healthy life activities in compliance with ecology. The editorial committee welcomes submissions from RGU graduates, graduate students and faculty members who are carrying out proprietary research in the workplace, as well as researchers who are proceeding with research relating to the abovementioned purpose or relevant fields.

3. 具体例

- ① 現場で活躍している卒業生を対象に、仕事を通しての成果を論文として国際的に公表する。
- ② 論文作成教育の延長として学位を取得していただく
- ③ 現場での問題点を大学人に導入し、大学人による研究成果を発表し、現場に返す
- ④ 最終的目標として、“酪農学園（高校も含む）の科学”をまとめ推進する指標とする

4. 論文形式

- ① 英語原著論文
- ② 英語ミニレビュー 日本語解説付き（博士学位取得者）
- ③ 日本語原著論文（論文題名、要旨、図の説明は英語）
- ④ 日本語ミニレビュー（論文題名、要旨、図の説明は英語）
- ⑤ 記事（Up to Dateな内容紹介、編集委員またはその依頼人）
- ⑥ 優秀博士／修士論文の紹介記事（本人が執筆）

獣医学専攻博士、農学専攻博士、農学専攻修士の各論文のうち、優秀なものを研究科長より推薦、編集委員会および大学院委員会で決定、大学院委員会より賞状授与全て、投稿前に英文校閲済（証明書付き）とする。

5. 投稿料及び審査料

- ① 投稿料及び審査料は別に定める（編集委員会により決定する）。

6. 審査過程と期間

- ① 投稿された論文に対して一人の担当編集委員を編集委員長が決定する。

- ② 担当編集委員はレフリー二人（うち一人は学外者）を決定し依頼する。
- ③ 受理又は不採用の最終判断は担当編集者が行ない、編集委員会です承を得る。
- ④ 投稿受付した期日より6ヶ月以内に最終判断を行なうものとする。

7. 審査基準

- ① 本誌の目的（上記）に合った研究内容であること。
- ② 新規で且つ重要な科学的結果又は技術、考え方等を含むこと。

8. 論文の体裁

論文の体裁は、次項の例（編集委員会に於いて決定する）に準ずるものとし、pdf ファイルとして投稿するものとする。

9. 編集委員会

任期は3年（2013年4月より2016年3月）とし、留任も可とする。

編集委員長は学長が任命、各分野の編集委員は委員長が任命し、大学院委員会の承認を得る。

委員長	1 横田 博	連絡先	h-yokota@rakuno.ac.jp
編集委員	2 片桐 成二（獣医学臨床分野担当）	連絡先	katagiri@rakuno.ac.jp
	3 北澤 多喜雄（獣医学基礎分野担当）	連絡先	tko-kita@rakuno.ac.jp
	4 谷山 弘行（獣医学応用分野担当）	連絡先	taniyama@rakuno.ac.jp
	5 市川 治（人文社会科学分野担当）	連絡先	oitikawa@rakuno.ac.jp
	6 山口 昭弘（食品科学分野担当）	連絡先	yama-aki@rakuno.ac.jp
	7 堂地 修（農学／酪農学分野担当）	連絡先	dochi@rakuno.ac.jp
	8 矢吹 哲夫（環境学分野担当）	連絡先	yabuki@rakuno.ac.jp